

インターンシップを通して

# 自分の未来を見つめる

## 学校ではできない実習や 現場見学は貴重な体験

インターンシップを通して①

環境土木科／國原貴幸  
4日間という短い期間でしたが、井森工業にインターンシップでお世話になりました。皆さんには、様々な実習を大変わかりやすく教えて頂き、とても勉強になりました。初日は、計画図を見てもどこがどうなっているのかわからず、理解できたのは距離と高さくらいでした。測量の実習では、1年生で勉強していたことなのに忘れた部分があり、反省しました。この4日間で学んだことは、将来就職した時に生かしたいと思いました。



環境土木科／松岡真之介

私は、インターンシップで簡井建設の皆さんにお世話になりました。初日は残念ながら雨で現場をあまり見ることができず、図面や設計図の見方を教えていただきました。2日目からは晴れて現場を見ることができ「やっぱりカッコいいな」と思いました。トランシットによる測量実習では、据え付けの早さに驚きました。自分も出来るようになりたいと意欲がわきました。特に勉強になったのは、測量実習やCADの操作です。出来ればもっとお手伝いをしながらいろいろなことを学びたいと思いました。

## 自分から動いて 仕事を教えてもらおう

インターンシップを通して②

農業土木科／大村和也  
私は葉山土木コンサルタントで4日間お世話になりました。緊張の挨拶が終わると、実習中の心得や図面の見方などから教えて頂きました。パソコンでは横断面図を制作しました。図面が完成したときは何とも言えない感動がありました。でも、皆さんが作られた図面の細かさ、正確さには、ただ驚くばかりで自分にもこんな正確な図面が作れるだろうか心配になりました。3日目からはいいよ現場での実習です。最初は何をしたらいいのかから立ちずくんでいましたが「何かしなければ」という思いで聞いてみると、丁寧に指示をさせて頂きました。「自分から動かないと社会では通用しない」ということを改めて感じました。皆さんには大変親切に教えていただき、充実した4日間でした。

農業土木科／三浦晃人

僕は山陽建設工業で現場実習のお世話になりました。皆さんに挨拶を済ませた後、一緒にラジオ体操をしました。ラジオ体操は皆さんの体調を整えるため、毎朝欠かさないそうです。初日は現場を見学し、測量の実習をしました。学



インターンシップを通して③

山口県立岩国工業高等学校／都市工学科

都市工学科／濱本剛史

## 学校での実習を生かして

このインターンシップの3日間は、自分の今後にとって大きな影響を及ぼしたと思います。学校で習ったことを実際に生かすことができたり、学校では使ったことのない器具を使えたりと勉強になることが多かったです。初めはうまく話せるかどうか不安でしたが、皆さんがとても親切で丁寧に教えてくださるので、気軽に質問もできるようになりました。この3日間はとても暑くて、現場での見学や実習は「つらい」の一言でした。でも、皆さんは毎日この暑い中を働いているのだから、自分ももっと我慢強い男にならなければいけないと思えました。学校の実習で勉強していたことも、あまり覚えていなくて手間取ってしまったので、もっと真剣に取り組まなければいけないと反省しました。



都市工学科／田中一平  
初日は現場を見学でしたが、行った時には作業がほとんど終わっていて見たかった作業が見れずに残念でした。2日目は草刈り作業で、とても暑かったけど皆さんといろいろなことを話せて楽しかったです。3日目はCADの勉強ということで、室内での作業なので暑くなくてラッキーと内心喜んでいたら1日中パソコンに集中していたせいで結構疲れました。  
3日間のインターンシップを通して思ったことは「期間が短い」ということ。実際に体験してみても、1週間くらいはあったほうがいいんじゃないかと思いました。

## 仕事を通して

## 沢山の女性と出会いたい

け・ん・せ・つ  
WOMAN



田辺 貴子さん

TAKAKO TANABE ●株式会社梶田建設(山口市) ●昭和47年生 ●山口市出身、山口芸術短期大学音楽学科声楽コース卒業

現場管理の仕事で1日中走り回っている、田辺貴子さん。とても楽しそうな笑顔が印象的な女性です。



父も建築関係の仕事をしていたので、この業種に就くときも、女性だからといって尻込みすることはありませんでした。ただ、なにかも初めてだったので、仕事を始めてすぐの頃は道具の名前も分からずに、周りの人に「これはなんですか？」

って聞いて廻ってましたね(笑)。

仕事に関して辛いと思うことは特にはないです。暑い日や寒い日があっても、仕事をしていれば忘れまから。それだけ自分に合っているのでしょう。また、大きな現場であれば、

他の会社の方と協力して作業するので、仕事を通じていろんな人と出会えるのも魅力ですね。

会社の中で現場に出ている女性は、私も含めて2人です。やはり、現場ではまだまだ女性を見かけることが少ないので、少しさみしいですね。もっともっと女性にもチャレンジしてほしい。実際現場にでてみると、男性だから、女性だからということはありません。外で働くことが好きな人なら誰でもがんばれる仕事だと思います。私には子供が2人いて、仕事、家事、育児と飛ぶように1日が過ぎていきますが、本当に充実した楽しい毎日を送っています。

仕事を始めて10年、まだまだ半人前ですが、現場でたくさんの方とふれあいながら、これからもいろいろなことを勉強していきたいです。その中で、たくさんの女性の方とも出会えることができたらと思います！

今年(平成14年)4月に藤本工業株式会社に入社されたばかりのお二人に、ひとことお願いしました!

◇渡邊 仁美さん(経理・19歳)  
「建設業」というと、なにか少し怖いイメージがあったけれども、そんなことはなかったです。書類やパソコンと向き合っている仕事が多いので、対人の仕事もやってみようと思います。

◇馬場 真由美さん(総務・19歳)  
初めてのことはばかりで、すべてが勉強になります。新しくやりたいことは思いつきませんが、とにかく今の仕事をもっとがんばりたいです。



渡邊仁美さん(左) 馬場真由美さん(右)